

循環器内科医の立場から見た 在宅医療の問題点 (訪問心エコーの有用性)

医療法人社団プラタナス施設在宅医療部

石川和利 畠中正孝 遠藤拓郎 黒崎史果 関有香子 真神易
梅田耕明 飯塚以和夫 荒木庸輔 渡部聡子 片山智栄
大石佳能子

Background

運動は、高齢者の認知症の進行を遅らせる。

Int J Geriatr Psychiatry. 2009 Dec 23.

運動は、高齢者の筋肉萎縮や心肺機能の低下を防ぐ。

Wien Klin Wochenschr. 2009;121(23-24):757-64

高齢者の大多数は、心疾患を有している。

Heart 2007;93:411-422

高齢者の心疾患は、胸部症状の欠落により見落とされる症例が多く、その大きな原因として認知症があげられる。

J Am Geriatr Soc. 2009 Feb;57(2):279-84

Patient characteristics

	人数／年齢 (mean±2SD)	胸部症状 (あり／なし)	下肢の浮腫 (あり／なし)	CTR(% (mean±2SD)	長谷川式 (mean±2SD)
男	4/80±12	1/3	2/2	49±12	18±4
女	33/84±8	3/30	25/8	48±6	22±4
全体	37/83±8	4/33	27/10	51±8	17±4

Result 1

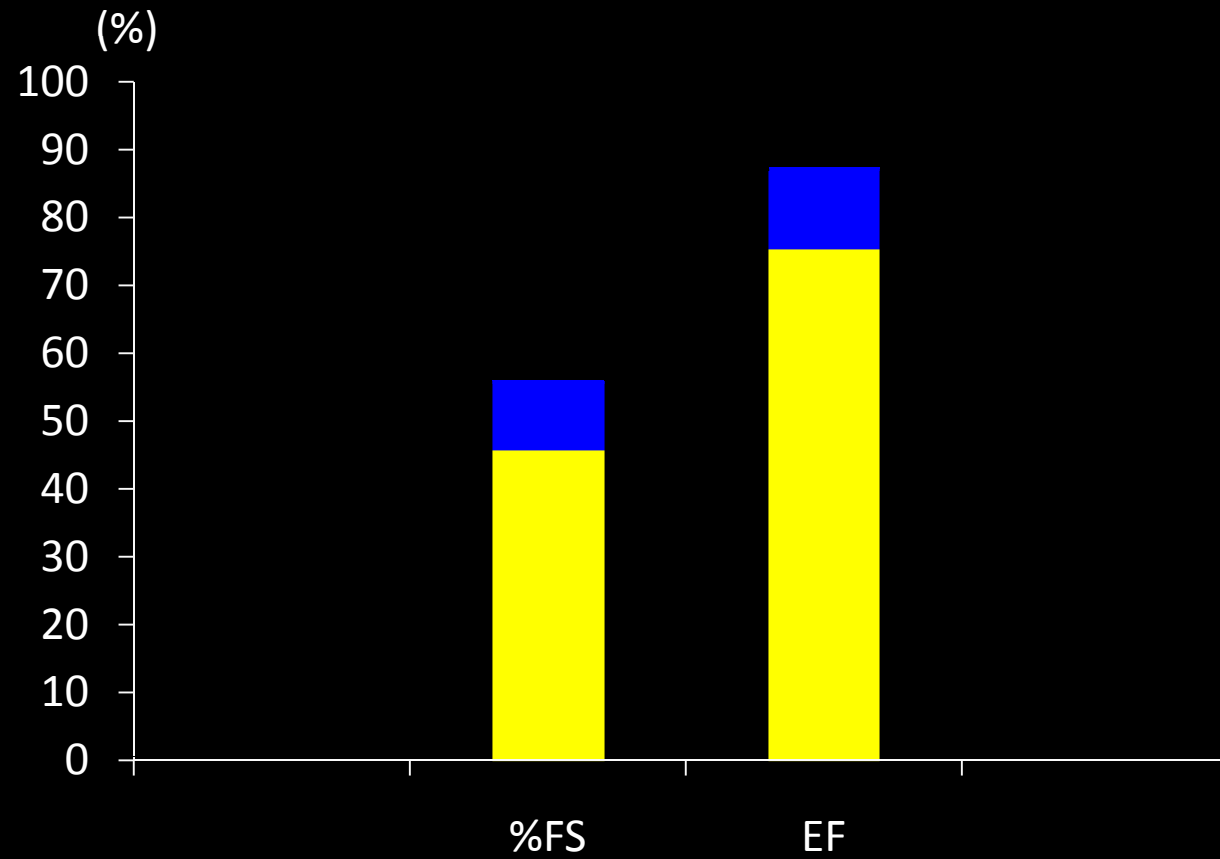
	大動脈弁疾患	僧帽弁疾患	拡張型心筋症	その他心臓病	正常範囲
男	1	0	2	1	0
女	7	10	2	2	12
全体	8	10	4	3	12

大動脈弁疾患; AR \geq 3度、AS

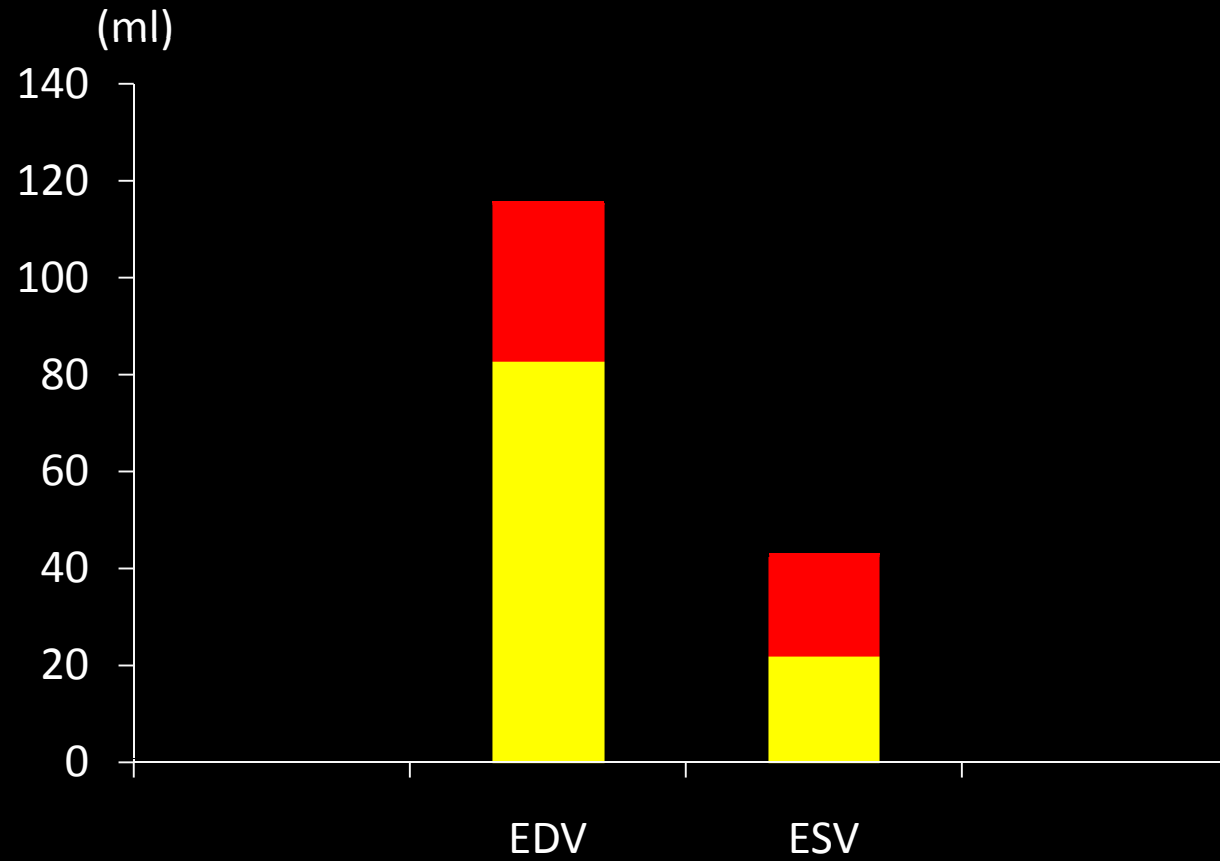
僧帽弁疾患; MR \geq 3度、MS

その他心臓病; Afによる心拡大、COPDによる右心不全

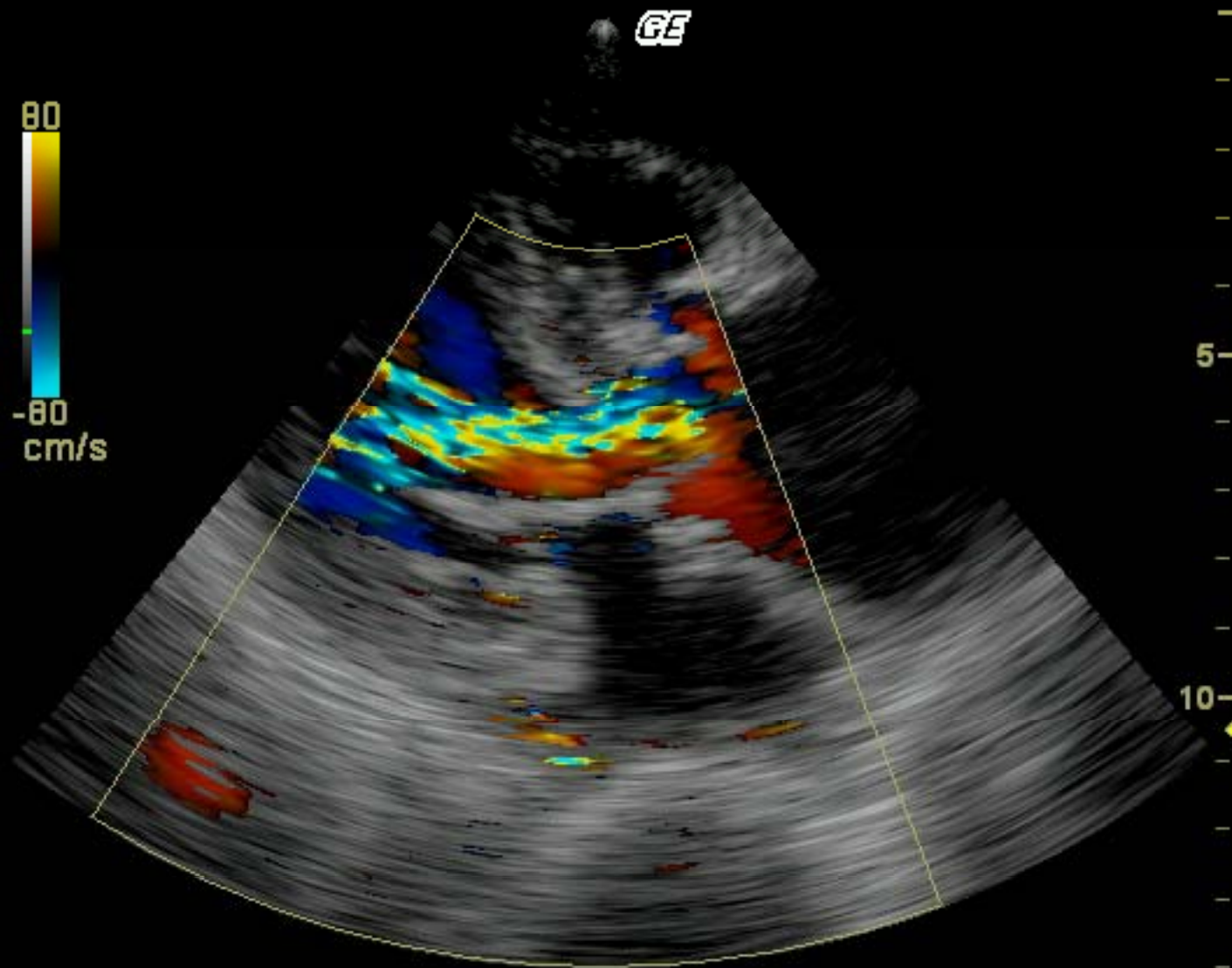
Result 2



Result 3



症例



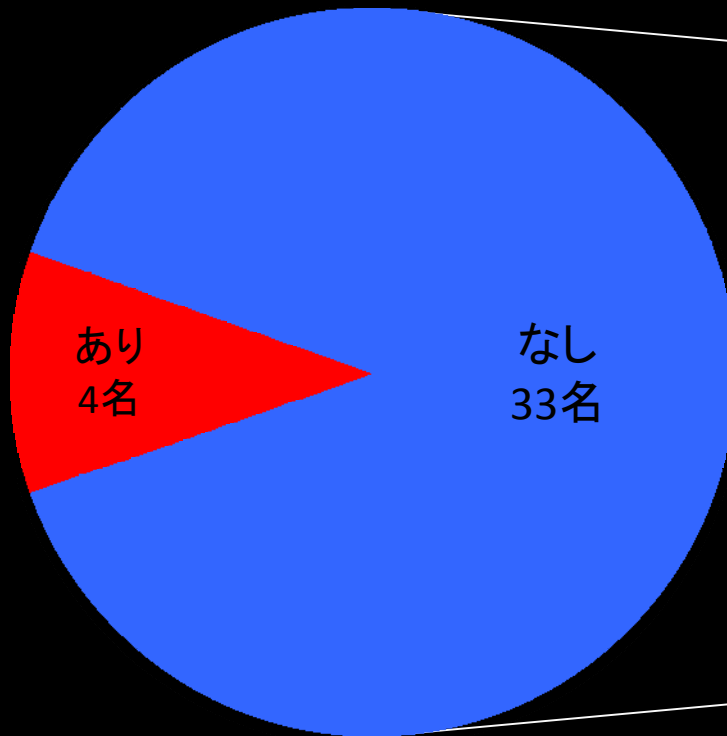
結論

1) 高齢者の心疾患の原因は多岐に渡るが、今回の検討では、無症候性の重症弁膜症症例を数多く認めた。

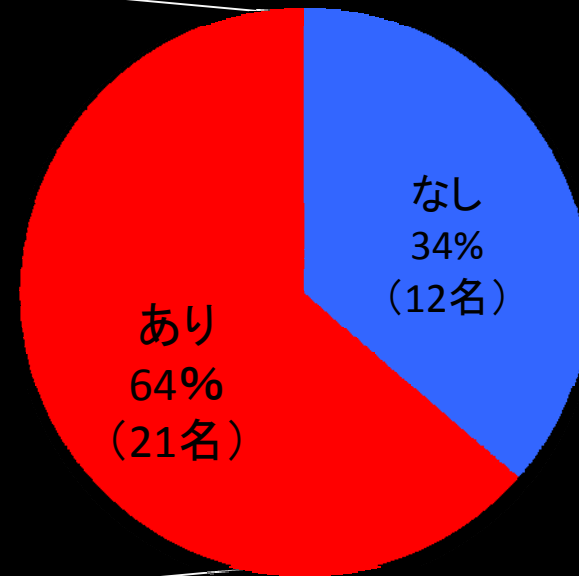
2) 高齢者では、重症の心疾患を有しているにも関わらず、明らかな胸部症状を呈さない症例が多い。

考察

胸部症状



重度心疾患



明らかな胸部症状のなかった症例の64%に重度心疾患が認められた。

まとめ

高齢化が進む今後の在宅診療では、循環器科領域の管理がより一層必要になる可能性がある。